

母子幼小運動会

例年の『母子運動会』は、最終演技「マイムマイム」(右写真)に代表されるように、永沢寺・母子地区との共催で行われ、みんなで一つの輪になって、小さい子どもからお年寄りの方まで、様々な年齢層が集う母子の一大行事でした。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出のため、当初の予定から1か月遅れの10月9日(土)に行いました。感染症対策がまだまだ必要な時期であったため、残念ながら例年通りの永沢寺・母子地区との共催とはなりませんでしたが、天候にも恵まれ、絶好のコンディションのもと開催することができました。



今年のスローガンは、高学年が中心となって全校児童会で話し合った

あつく 燃えろ 心をあわせる 運動会

でした。母子幼稚園児・小学生が練習を積み重ねて本番をおかえました。

枝「ムカデ競争」に代わり「しっぽ取り」をしました。ほのぼのとしたしっぽ取りの中にも、勝負に燃える熱い戦いが見られました。

その他、玉入れ(幼、小)、障がい物競走(幼、低学年)、リレー(中・高学年)、幼稚園演技、綱引き(幼、小)全校リレー(小)がありました。

地域の方は、観覧のみという例年とは違った雰囲気でしたが、6年生を中心に子ども達は精一杯がんばっていました。たくさんのご支援ご協力ありがとうございました。

来年は、みんなで輪になって開催できる運動会になるように願っています。

